

# 事業計画書

令和4年度

施設名 中山地区センター

指定管理者 一般社団法人緑区区民利用施設協会

## 1 施設管理に関する基本方針

### (1) 施設の管理運営について

- ① 基本理念について
- ② 予算の執行について
- ③ サービスのあり方について

### (2) 施設の管理運営に対するニーズ等の把握について

- ① 地域の特徴のとらえ方と運営への反映の考え方
- ② 地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と運営への反映の考え方
- ③ 併設施設、他施設、地域活動をする団体、との連携

### (3) 施設でのサービスの提供に対する考え方について

- ① サービス提供に関する基本的な考え方
- ② 施設の利用に関する取扱いについて
- ③ 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について
- ④ ご意見、苦情及び情報公開の取扱いについて

### (4) 施設の経営に関する考え方について

- ① 本年度の経営に関する基本方針について
- ② 効率的な運営、経費節減のための具体的な計画について
- ③ 横浜市の環境対策に対する取組みについて

### (5) 職員体制・情報保持等の考え方について

- ① 職員の配置及び採用について
- ② 職員の研修計画について
- ③ 個人情報保護の措置について

### (6) 緊急時対策について

- ① 防犯、防災の対応について
- ② その他緊急時の対応について

### (7) 施設の保全について

- ① 建物・設備等の保守・点検について
- ② 清掃業務について
- ③ 植栽・樹木の維持管理について

## 2 自主事業に関すること

### (1) 自主事業計画に対する基本的な考え方

- ① 自主事業について
- ② 自主事業の運営方法について
- ③ PRの強化について

## 3 基本協定書等に定めた目標達成に向けた取り組みについて（必要に応じて別紙(様式任意)で作成をお願いします。）

### (1) 稼働率向上に向けた取り組みについて

### (2) 利用料金収入増に向けた取り組みについて

### (3) 幅広い年齢層を対象とした自主事業の展開に向けた取り組みについて

### (4) その他、提案書提案内容達成に向けた取り組みについて

## 1 施設管理に関する基本方針

### (1) 施設の管理運営について

- ① 基本理念について
- ② 予算の執行について
- ③ サービスのあり方について

#### ①基本理念

緑区区民利用施設協会は、平成7年に設立し、平成28年度から一般社団法人として活動しています。「区民利用施設（地区センター、コミュニティハウス、スポーツ会館）の管理運営及び区民が参加する活動への支援等」を行い、区民を主体とした活動とふれあいのある快適な地域社会の実現に貢献していくことを目的に取り組んでいます。

中山地区センターの管理運営にあたっては、この理念を基本に、関係法令・条例等を始め、地区センター利用要綱、提案書、事業計画書、中山地区センター運営方針（下記）等に基づき、公平公正な管理運営を行っていきます。又、地域の方々や利用者の方々からのニーズを踏まえて、文化活動・スポーツ・レクリエーション活動など、区民の多目的な活動・交流の場として「地域に根ざした、区民に親しまれ、利用者にとって使いやすい施設」の実現を目指した管理運営を行っていきます。

#### ②予算の執行について

- ・コロナ禍で厳しさを増す財政状況の中、印刷代収入や自販機収入など小さな収入を積み重ねるとともに、徹底した経費の節減に努め、利用者サービスの向上を目指します。
- ・経費の執行にあたっては、感染症予防を踏まえたうえで、重要性・緊急性・優先性等を考慮に入れて節減に努め、「最小の経費で最大の効果」をあげるよう努めます。

#### ③サービスのあり方について

- ・「センター委員会」「利用者会議」「利用者意見箱」等により意見を積極的にいただき、地域の力や知恵を反映していくとともに、コロナ禍にも配慮し、職員一同お客様対応の意識やスキルを向上させ、安心・安全で満足いただける管理運営に努めます。
- ・特に、スタッフの対応がセンター運営の要と考え、常に質の高い接客力を身につけるため、日常のOJTや研修会等を通じ、挨拶や対応技術の習得・向上を目指し人材育成に努めます。
- ・平成31年度に導入したインターネット予約システムを活用し、利用者の利便性向上を図ります。
- ・「広報よこはまみどり区版」、中山地区センターホームページ、毎月発行する「地区センターだより」、館内外への掲示板の活用を図り、地区センターの運営・事業PRを積極的に行います。また、コロナ感染状況を踏まえ、可能であれば小学校向け広報や、夏・冬まつりチラシの近隣地域回覧、市ホームページの「センターからのお知らせ」欄の情報更新を頻繁に行い、利用者に地区センターの自主事業を知っていただけるようにします。

#### <中山地区センター運営方針>

- 1 笑顔と声かけで利用者をお迎えし、心安らぐ場を提供します。
- 2 たくさんの人々が訪れ、世代間交流が生れる事業・支援を行います。
- 3 公平な対応で接し、「もったいない」の気持ちで経費の節減に努めます。
- 4 「ハーモニーみどり」の一施設として、施設間の連携を密にした運営を目指します。

## 1 施設管理に関する基本方針

### (2) 施設の管理運営に対するニーズ等の把握について

- ① 地域の特徴のとらえ方と運営への反映の考え方
- ② 地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と運営への反映の考え方
- ③ 併設施設、他施設、地域活動をする団体、との連携

#### ①地域の特徴のとらえ方と運営の考え方

中山地区センターの周辺は、JR 中山駅を基点に商業施設や新興住宅地、公立・私立小中高等学校などがあり、昔から住んでいる地元住民と、戸建てや集合住宅開発の後に住み始めた住民が混在し、バラエティに富んでいます。

センターを利用圏とする地域は、新治中部地区連合、山下地区連合ですが、利便性の良さから近隣にある会社や工場などに勤務する人々から子育て中の若い世代、こどもから高齢者まで、幅広い世代の交流の場となっています。

そこで、こどもから高齢者まで、幅広い世代が誰でも気軽に利用できる施設運営と自主事業の企画を行い、多様な交流と活動の場を提供していきます。

また、子育て世代や保護者への支援として、近隣の小中学校と連携し、マナーや学力の向上に貢献していきます。

#### ②地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と運営への反映の考え方

- ・センター委員会や利用者会議を開催するほか、利用者意見箱の常設、自主事業終了後にアンケートを行うなど、積極的に地域や利用者の声を把握し、運営に反映させていきます。
- ・今までの実績も踏まえ、新型コロナに十分配慮しつつ、人気のあった事業は繰り返し開催するとともに、ハーモニーみどり祭りの開催などニーズに応じていきます。
- ・日常から、利用者に気軽に声をかけ、コミュニケーションをとる中で、利用者ニーズの把握に努めます。

#### ③併設施設、他施設、地域活動する団体、との連携

- ・複合施設内4施設との連携は、各施設目的の達成や「ハーモニーみどり」の安全な管理運営の面からも重要ですので、月1回の施設長会他の場を活用し、効率のよい館運営に努めるとともに、ケアプラザ利用団体（ダンス・子育てグループほか）を誘引するなど、相互交流に努めます。
- ・区内6つのコミュニティハウス・十日市場スポーツ会館との連携を密にするため、定期的に情報交換を行い、組織内の情報の共有と業務課題の解決に努めます。また、全市的な事務局長および事務局員会議を活用し、情報の収集や業務の改善等に努めます。
- ・健康・福祉・子育て支援・青少年健全育成等、公益上特に必要と認められる地域で活動している団体には、センターの優先利用や減免など、活動にあたっての支援を行っていきます。また、自主事業終了後に結成され活動を始めた団体には、会員募集や優先利用などの支援を行い、継続的な活動をサポートしていきます。
- ・近隣自治会等の地域活動の拠点や集会に活用され、気軽に利用できる身近な施設としての役割を果たしていきます。
- ・官公署との連携を積極的に取っていきます。例として、プレイルームで行う緑区子ども家庭支援課の子育て支援事業へ全面協力をしていきます。

## 1 施設管理に関する基本方針

### (3) 施設でのサービスの提供に対する考え方について

- ① サービス提供に関する基本的な考え方
- ② 施設の利用に関する取扱いについて
- ③ 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について
- ④ ご意見、苦情及び情報公開の取扱いについて

#### ①サービス提供に関する基本的な考え方

地域の方々が、「また利用したい」「身近なオアシス」と思ってもらえるようなサービスを提供していきます。

- ・新型コロナウイルス感染防止を職員・スタッフが十分配慮し、消毒液を要所に配置するとともに、利用者の協力を得て利用後の部屋の消毒等に努めます。
- ・明るく清潔で、挨拶を励行し、コミュニケーションを図り、利用しやすい雰囲気を整えた、様々な活動や地域交流が生れる場づくりを目指します。
- ・誰でも気軽に参加できるニーズにあった自主事業を企画するとともに、これを広く広報し、より多くの方々が、参加できるよう多くの機会を提供していきます。
- ・シルバー世代、子育て世代、児童等にとって気軽に交流できる「居場所」を提供できるような自主事業を設定いたします。
- ・日常の業務を行うにあたっては、受付には、常にスタッフなど1名を配置し、利用者の立場に立って、明るく、良質で、公平なサービスの提供を行っていくとともに、利用受付時や利用の終了時の声かけなど、利用者とのコミュニケーションを頻繁にとり、迅速・的確な対応に努めます。

#### ②施設利用に関する取扱いについて

- ・条例、利用要綱、マニュアル等に基づき、利用者の立場に立って公平・公正を基本に管理運営します。
- ・優先利用や利用料の減免については、他の利用者への影響や公平性を損なわない範囲で弾力的な運用も含め、規定に従い適正に運用していきます。

#### ③活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について

- ・利用の内容、方法、ルール等について、受付や電話等で、利用者のそれぞれの立場に立って、わかりやすく、丁寧に説明していくことを心掛け、活動や交流の一助となるよう努めます。そのためにも、職員間で情報やノウハウの共有に努め、誰もが適正に対応できるよう職員のコーディネート能力を育成していきます。

#### ④ご意見、苦情及び情報公開の取扱いについて

- ・利用者意見箱や直接いただいたご意見・苦情等は、よりよいサービスを提供するための資源と受け止め、速やかに運営に役立てるとともに、本人回答、館内掲示、各種会議で公表していきます。
- ・情報公開の取扱いについては、「中山地区センター情報公開規程」に沿って行い、個人情報保護を徹底したうえで、対応していきます。
- ・センター運営の基本となる年度事業計画書及び報告書、自主事業計画書及び報告書を始め、センター委員会、利用者懇談会等の資料は、窓口で閲覧できる旨準備していることを館内掲示し、自主的に公開し、センター運営について利用者や地域の方々の理解と信頼を得られるよう努めていきます。

## 1 施設管理に関する基本方針

### (4) 施設の経営に関する考え方について

- ① 本年度の経営に関する基本方針について
- ② 効率的な運営、経費節減のための具体的な計画について
- ③ 横浜市の環境対策に対する取組みについて

#### ①本年度の経営に関する基本方針について

「地域に根ざした、区民に親しまれ、利用者にとって使いやすい施設」の実現を目指して、施設運営を進めていきます。

- ・経営にあたっては、印刷代收入や自販機収入など小さな収入を積み重ねるとともに経費節減に努め、ニーズを的確にとらえた自主事業を実施し、利用率の向上を目指し、健全で透明性のある経営を進めていきます。
- ・執務にあたっては、区民サービスの向上と効率的な運営を基本に、業務の質の向上に努めます。
  - ア 高齢者の利用が多いという特性に配慮し、新型コロナ感染防止策を徹底します。
  - イ お客様の声をよく聞き、快適な施設環境を提供します。
  - ウ お客様が安全に安心して利用できるよう、万全な危機管理を行います。
  - エ 個人情報保護・金銭執行管理・執務執行管理を適正に行います。
  - オ 職員のコミュニケーションを密にし、情報共有を進め、執務能力の向上を図ります。

#### ②効率的な運営、経費節減のための具体的な計画について

「スタッフのできないことをなくそう」を合言葉に、費用対効果を常に考え、効率良い管理とコスト削減に努めます。

- ・協会職員とセンター職員との相互支援を進め、効率的な組織運営を行います。
- ・自主事業の実施には、稼働率の低い時間帯・部屋の利用などで、稼働率向上に努め、効果的な部屋利用を行っていきます。
- ・インターネット予約の普及を図り、部屋の稼働率を高める努力をしていきます。
- ・備品の修繕、スポーツ用具の簡単な手入れなど、館内外の簡易な補修や整備は、スタッフができるだけ自前で行うとともに、利用者にもご協力をいただいています。
- ・施設のメンテナンス経費について、仕様書や単価のチェック・見直しを行い節減に努めます。
- ・備品の更新にあたっては、リサイクル品や新古品の購入を進めます。
- ・利用者へ節電・節水を呼び掛けるとともに、不要な電気、冷暖房の温度設定や水道の止め忘れなど、館内点検時等にきめ細かくチェックし、無駄を省きます。
- ・スタッフ会議で「コスト削減案」を出し合い、職員のコスト意識の向上と効果的な実践を目指します。

#### ③横浜市の環境対策に対する取組みについて

- ・太陽光発電システム設置の趣旨を踏まえ、市施策の実現に努力しています。
- ・センター利用者には、ごみの持ち帰りを徹底するとともに、センターから出るごみは極力抑制し、分別は徹底して資源化に努めます。
- ・ペットボトルのふたについては、別途分けて収集し、NPO 法人を通してワクチンなどの購入費用に充てる活動に協力していきます。

# 1 施設管理に関する基本方針

## (5) 職員体制・情報保持等の考え方について

- ① 職員の配置及び採用について
- ② 職員の研修計画について
- ③ 個人情報の保護の措置について

### ① 職員の配置及び採用について

職員は、館長1名、指導員1名、指導員補助2名、コミュニティスタッフ12名、作業スタッフ2名の18名を配置します。常に、館長、指導員又は指導員補助1名及びスタッフ2名を配置し、利用者数が多い時間帯にはスタッフ等を増員して、円滑に運営していきます。

職 種		人数	雇用形態・勤務体制		
館 長		1名	常勤	早番： 8:45~16:45	1日2～3名が勤務、4名でローテーション (日祝日は1名で17時15分まで)
指導員		1名		遅番： 13:15~21:15	
指導員補助		2名	非常勤	早番： 8:45~15:45 遅番： 14:15~21:15	
ス タ フ ッ ク	午前	4名	非常勤	9:00~13:00	1日に2名ずつ勤務、半月ごとにローテーション
	午後	4名		13:00~17:00	
	夜間	4名		17:00~21:00	
	作業	2名		8:00~11:00	1日1名勤務、半月ごとにローテーション

#### <職員の採用>

- ・館長には、施設管理・運営や地域活動に精通している者のうち適格者を、指導員や指導員補助、スタッフは、公募により「地域の施設は地域の方々に運営していくこと」を基本に、近隣地域から職務経験・地域での活動実績や職務適正を考慮して採用します。
- ・スタッフには、短時間の勤務体制を採用し、より多くの地域の人材（女性、シルバー世代含む）や有資格者を活用することで、豊富な知識や経験を十分に生かします。
- ・公募にあたっては、地域の人材を広く募集するため、自治会等に情報提供し、周知に努めます。

### ② 職員の研修計画について

施設運営に必要な能力・資質の向上を図るため、業務研修、接客研修、防犯研修、消防救助訓練、人権・個人情報保護研修等、施設協会研修計画に則って実施していきます。特に、年2回の「ハーモニーみどり合同避難訓練」に参加し、実地対応能力の向上や施設間の連携強化を進めます。また、責任職には、リーダーシップや指導力の向上のための研修や、指導員及び指導員補助には、企画力の向上を目指す生涯学習関係の研修など、積極的に参加させていきます。

### ③ 個人情報の保護の措置について

個人情報の取扱いについては、「個人情報の保護に関する法律」、「横浜市個人情報の保護に関する条例」、「個人情報取扱特記事項」、「地区センター等個人情報保護方針」を遵守し、適正に取り扱うよう研修等を通じ、職員に徹底していきます。

- ・館長を個人情報保護責任者とする個人情報保護体制を確立しています。
- ・取得した個人情報は、条例等に定められている場合以外は開示しません。
- ・個人情報漏えい防止には、施錠できる書庫への保管、シュレッダーによる処理、持ち出し禁止・コピー禁止、パソコンの施錠・パスワード設定、記録媒体の施錠管理など、職員ひとり一人に徹底していきます。

## 1 施設管理に関する基本方針

### (6) 緊急時対策について

- ① 防犯、防災の対応について
- ② その他緊急時の対応について

#### ① 防犯、防災の対応について

安心・安全に利用できる地区センターを目指し、防犯、防災の対応については、館長を対応責任者とし、各対応マニュアルに基づき、迅速・的確に初動体制をとって対応していきます。

又、緊急連絡網を作成し、区・関係機関等へ迅速に連絡し、連携して対応していきます。

- ・当協会の「防犯マニュアル」「防災マニュアル」を、機会を捉えてスタッフに確認します。
- ・日常点検時に、点検実施表を用いて1日7回以上館内外の確認を行い、防犯防災、事故防止に努めます。
- ・閉館時の防犯、防災については、警備会社と契約し万全を期します。
- ・万が一、施設で発生した損害賠償等に対応するため、施設賠償責任保険に加入し、対人2億円の補償を確保します。
- ・「子ども110番」、「警察官立寄所」など、地域の防犯に積極的に協力していきます。

<特に、防災については>

- ・館長を「防火責任者」とし、防災計画を策定します。
- ・消防署と連携して、避難訓練1回、消防訓練（施設合同）を2回実施します。AEDの取扱い訓練も年1回実施します。
- ・区との「災害時における施設利用の協力に関する協定」に基づき、災害時の住民の避難場所としての運営を行っていきます。

#### ②その他緊急時の対応について

- ・館内外で事故等が発生した場合は、速やかに救急救助・警察・区等関係機関へ連絡・報告し、各機関と連携して迅速・適切な緊急対応をしていきます。その際、被害者の応急措置や家族への連絡、付き添い等を適切にできるよう、研修等で職員に徹底していきます。
- ・特に、小中学生のトラブルについては、学校との連携を密にし、子どもの健全育成に配慮した対応がとれるよう努めます。
- ・27年度から編成した帰宅困難者対応班で、災害時等に迅速に対応していきます。



## 1 施設管理に関する基本方針

### (7) 施設の保全について

- ① 建物・設備等の保守・点検について
- ② 清掃業務について
- ③ 植栽・樹木の維持管理について

施設の保全については、「利用者の方々が、気持ちよく、安心・安全に地区センターを利用していただけよう」に、経費節減を念頭に置いて、できるところは自力で行い、資格や専門知識の必要な分野は、専門業者に委託し適正に行っていきます。

#### ①建物・設備等の保守・点検について

- ・建物内外の損傷状況、エレベーター、自動扉、防災機器、電気・空調設備、給排水衛生設備などの保守点検は、専門業者に委託し、安全で快適な環境を維持します。不調・不具合が発見された時は、早急に対応します。
- ・建物、設備、備品などの日常的な保守管理は、スタッフが効率よく漏れなく確認できるように点検実施表を用い毎日7回点検を行います。又、室内は利用者の退出後に、その都度設備・備品に異常がないか確認します。
- ・建物・設備の不具合については、過去の実績も考慮して修理費を確保し、緊急性、優先度の高い順にタイムリーに補修していきます。

#### ②清掃業務について

- ・毎日の日常清掃は、床・トイレ清掃、拭き掃除など作業スタッフが行います。
- ・定期的な清掃は、専門業者に委託して実施します。

毎月実施	: カーペット清掃、トイレ清掃
隔月実施	: 床・ワックスかけ
年6回実施	: ガラス清掃
年4回実施	: 換気扇・空調フィルターなど
年2回実施	: バルコニー清掃、屋上清掃など

#### ③植栽・樹木の維持管理について

- ・複合施設内4施設との連携により環境保全と緑化に努め、敷地内の植栽は、適切な時期（年2回）に委託による剪定・消毒を行い、清潔で明るい環境づくりに努めます。

## 2 自主事業に関すること

### (1) 自主事業計画に対する基本的な考え方

- ① 自主事業について
- ② 自主事業の運営方法について
- ③ PRの強化について

#### ① 自主事業について

誰もが気軽に参加できる魅力ある自主事業を企画・実施し、より一層の参加者の増加を目指すとともに、「いきいきと心豊かな生活を送るきっかけづくりや仲間づくり」をコーディネートしていきます。年度当初企画事業に加え、シーズンおりのタイムリーな単発事業を実施するなど、より多くの自主事業の実施に努めます。

(令和4年度予定 56事業 280回実施)

#### <自主事業>

- ・人気の高い自主事業は内容を工夫しながら継続して開催するほか、稼働率の低い時間帯に参加可能な対象者のニーズに沿った事業を新企画するなど、リピーターの獲得と稼働率の底上げに努めます。→「手芸(裁縫)講座」「生け花・フラワーアレンジメント講座」
- ・地域住民を対象に、当地区センターを利用している団体の協力を得て、年代各層が参加交流できる場づくりをします。→「ハーモニーみどり祭」
- ・楽しく交流しながら体力・健康づくりをする講座、生活の幅を広げ豊かにする教室、教養を高める講座を実施します。→「シニア健康体操」「ペン字講座」
- ・国際化が進む中で、地域の子どもたちに日本の良き伝統文化を広め、理解を深めるきっかけづくりを目的とした講座を企画していきます。→「百人一首教室」「囲碁・将棋教室」
- ・近隣の小中学生を対象に、普段経験できないことを体験できる講座、自由に参加できる講座や勉強会などを企画・実施していきます。→「子どものアトリエ油絵教室」等
- ・スポーツを通じて地域の教育力を高める一助として、日々のふれあいを通じて公共施設の利用方法のマナーや他人への思いやりが育てられるよう支援していきます。→「親子バドミントン教室」「夏休み子ども卓球教室」
- ・アンケート結果から、親子一緒に楽しめる講座やミニコンサート、料理教室などバラエティに富んだ事業を実施します。→「小学生・親子クッキング講座」「親子あそびの時間・音楽会」等

#### ② 自主事業の運営方法について

- ・誰もが、そして大勢が参加しやすくするために、参加費を安くするとともに、参加者が予定数を超えた場合は、新型コロナ感染対策を踏まえたうえで、より多く参加できるよう講座の講師と調整を図ります。
- ・自主事業で育った団体には、会員募集や部屋の優先利用などの支援を一定期間続け、継続的な活動を側面からサポートしていきます。
- ・各教室、講座の講師には、資格を持つ区内で活躍している人を中心にあて、区内人材の有効活用と経費節減に努めます。
- ・自主事業参加者にアンケートを行うなど、検証を行い今後の企画に役立てます。

## ② PRの強化について

自主事業講座の案内を継続的に内容更新して、主に下記のとおりPRを行っていきます。

- ・「広報よこはまみどり区版」への掲載
- ・「地区センターだより」掲載。講座ごとのチラシを作成し毎月センター内に配架
- ・区内連合自治会へのイベント開催チラシ配布
- ・ケーブルテレビやミニコミ誌など各媒体に活動内容をPR
- ・小・中学校の協力を得て、各校にチラシを配架
- ・(平成27年3月～)中山地区センター専用ホームページを開設。広く活動内容をPRし、地区センターの利用を促します。

### 3 基本協定書等に定めた目標達成に向けた取り組みについて

- (1) 稼働率向上に向けた取り組みについて  
(目標 稼働率57%)
- (2) 利用料金収入増に向けた取り組みについて  
(目標 利用料金収入 4,000千円)
- (3) 幅広い年齢層を対象とした自主事業の展開に向けた取り組みについて
- (4) その他、提案書提案内容達成に向けた取り組みについて

- (1) 稼働率向上に向けた取り組みについて (目標 稼働率57%)
  - ・引き続き利用者へのサービス向上・充実を図って目標値を上回るよう努めます。
  - ・コロナ禍の中で高齢者に配慮し、窓口での予約受付を止め、電話受付に変更します。
  - ・R元年度から月単位で予約を申し込む方法に切り替え、毎月11日の抽選結果公表後は、できるだけ空き室が出ないよう、利用コマ数を無制限にしています。また当日予約による時間貸しを引き続き行い、利用の促進を図ります。
  - ・自主事業は、ニーズを踏まえた、誰もが気軽に参加できる事業を実施します。又、稼働率の低い時間帯(午後3時～6時、夜間6時～9時)に参加可能な対象者のニーズにあった事業を提供し、稼働率の底上げを図ります。
  - ・稼働率の低い部屋(料理室、和室)は、料理の講座「季節の洋菓子作り講座」「小学生・親子クッキング教室」などや、和風文化を取り入れた自主事業「百人一首教室」などを実施します。特に、料理室の活用は、利用延長緩和や、幼児を伴う利用がしやすくするとともに、状況に応じての利用コマ数を柔軟に運用するなど稼働率の向上に努めます。
  - ・広報よこはま区版、地区センターだより等の活用のほか、小学校との一層の連携やホームページの情報更新を頻繁に行い、地区センターや自主事業を広く周知しPRの強化に努め、利用者の皆様に知っていただけるようにします。
- (2) 利用料金収入増に向けた取り組みについて (目標 4,000千円)
  - ・空き部屋がある場合は時間枠にとらわれず、当日予約で時間貸しを引き続き行い、利用促進・収入増を図ります。
  - ・自主事業をできるだけ空きが多い時間帯(午後3時～6時・夜間)にも実施し、稼働率向上と利用料金の増収を図ります。
  - ・稼働率の低い部屋(料理室、和室)は、料理教室シリーズや和風文化を取り入れた自主事業を増やし、増収を図ります。
  - ・センターの紹介や事業の広報を充実強化し、部屋の利用と参加を促進していきます。
- (3) 幅広い年齢層を対象とした自主事業の展開に向けた取り組みについて
  - ・子どもから、高齢者まで各年代各層が参加でき、世代間交流もできる、「体力・健康づくり」「生活の幅を広げ豊かにする教室・講座」など実施していきます。
  - ・特に、子ども達には、親子で一緒に楽しめる事業を提供していきます。
- (4) その他、提案書提案内容達成に向けた取り組みについて  
地区センターの目標は、職員全員の目標として共有し、「達成するためにはどうしたらよいか、どのような貢献ができるか」をひとり一人が考え行動できるよう、職員意識と組織力を高め、課題解決力の向上に努め、サービスの向上に取り組めます。  
館内にはボランティアの協力を得て、植物や生け花を飾り、居心地の良い雰囲気づくりに努めています。

# 自主事業計画書

施設名 横浜市中山地区センター

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
親子遊びの時間・音楽会 3回(各1日)	未就学児と保護者	24,000	0	24,000	15,000	0	9,000
	25人						
	300円						
保育相談(区役所と連携) 95回(毎週2日)	未就学児と保護者	0	0	0	0	0	0
	12人						
	無料						
おもちゃ病院 6回(各1日)	未就学児と保護者	30,700	30,700	0	27,000	0	3,700
	18組						
	0円						
絵本の読み聞かせ 12回(月1日)	未就学児と保護者	0	0	0	0	0	0
	10人						
	0円						
百人一首教室 6回(各1日)	小学生以上	14,400	14,400	0	9,000	0	5,400
	10人						
	0円						
囲碁・将棋教室 6回(各1日)	小～高校生	14,400	14,400	0	9,000	0	5,400
	10人						
	0円						
子どものアトリエ油絵教室 1回(3日)	小学生	50,000	0	50,000	27,000	20,000	3,000
	10人						
	5,000円						
親子バドミントン教室 2回(各5日)	小学生と保護者	129,000	39,000	90,000	100,000	9,000	20,000
	10組						
	1組4,500円						
夏休み子ども卓球教室 1回(4日)	小学生	43,000	19,000	24,000	32,000	3,000	8,000
	20人						
	1,600円						
夏休み子ども体験講座 3回(各1日)	小学生	24,000	0	24,000	18,000	4,000	2,000
	各10人						
	800円						
小学生・親子クッキング講座 3回(各1日)	成人	60,000	0	60,000	22,000	34,000	4,000
	各10人						
	2,000円						
シニア 健康体操 4回(各10日)	概ね60歳以上	349,200	(10,800)	360,000	280,000	(19,800)	89,000
	25人						
	4,500円						
男性筋トレ講座 3回(各5日)	概ね60歳以上	112,500	22,500	90,000	75,000	17,500	20,000
	12人						
	2,500円						

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
ZUMBA健康体操 4回(各10日)	成人	305,800	(54,200)	360,000	200,000	16,800	89,000
	15人						
	6,000円						
ノルディックウォーキング 2回(各1日)	成人	15,000	0	15,000	10,000	2,000	3,000
	10人						
	1,500円						
手芸(裁縫・クラフトバンド) 講座 6回(各1日)	成人	60,000	0	60,000	40,000	12,000	8,000
	10人						
	1,000円						
生け花・フラワーアレンジメント講座 3回(各1日)	成人	75,000	0	75,000	15,000	57,000	3,000
	10人						
	2,500円						
書道講座 1回(4日)	成人	30,000	0	30,000	20,000	6,000	4,000
	10人						
	3,000円						
ペン字硬筆基礎講座 1回(3日)	成人	20,000	0	20,000	15,000	2,000	3,000
	10人						
	2,000円						
季節の洋菓子作り講座 2回(各1日)	成人	34,000	2,000	32,000	12,000	19,000	3,000
	8人						
	2,200円						
地区センターまつり 年1回	全世代	0	0	0	0	0	0
	500人						
	無料 <small>ニーズ費で対応</small>						
サークル作品展示 通年	全世代	0	0	0	0	0	0
	特になし						
	無料						
お正月飾り作り 1回	成人	4,000	0	4,000	0	3,400	600
	8人						
	500円						
初めての包丁研ぎ講座 1回	成人	5,000	0	5,000	2,000	0	3,000
	5人						
	1,000円						
クリスマスコンサート (ケアプラザと共催) 年1回	全世代	10,000	10,000	0	8,000	0	2,000
	50人						
	無料						
合 計		1,410,000	87,000	1,323,000	936,000	185,900	288,100

## 自主事業別計画書

施設名 横浜市中山地区センター

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子遊びの時間・ 音楽会	<p>(目的) 未就学児と保護者を対象に、運動や音楽を通じて、仲間とのコミュニケーションができる講座です。</p> <p>(内容) 体育室で、五感を刺激する楽しい室内遊びをします。音楽会は、未就学児と保護者を対象に、ピアノやギターの生演奏を聞いていただきます。コミュニケーション作りのサポートもします。</p>	9月、10月、2月 3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
保育相談 (区役所と連携)	<p>(目的) 幼稚園や保育所で集団生活を始める前の乳幼児を対象に、区役所から派遣された子育て支援者による、育児アドバイスの場の提供をします。</p> <p>(内容) 手遊びやおもちゃ遊びのほかに、育児相談や仲間作りのきっかけ作りの場の提供をします。</p>	毎週2回 95回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おもちゃ病院	<p>(目的) 壊れたおもちゃを直す過程を見ることで、おもちゃの仕組みを知ることができ、物を大切に作る心を養います。</p> <p>(内容) 事前予約制。おもちゃのドクターが、目の前でおもちゃを修理します。修理代は、無料(部品を交換した場合、一部有料)です。</p>	偶数月 6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
絵本の読み聞かせ	<p>(目的) 絵本に興味をもち始めた未就学児を対象に主に月刊本〈こどものとも〉の「新刊本の読み聞かせ」をします。</p> <p>(内容) 絵本の読み聞かせのほか、紙芝居や季節感のあるペープサートなどをみていただき、仲間とのコミュニケーションの場作りをします。</p>	毎月1回 12回

## 自主事業別計画書

施設名 横浜市中山地区センター

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
百人一首教室	<p>(目的) 日本の伝統文化の「百人一首」を、子どもから大人を対象に、神奈川県かるた協会の講師が指導します。</p> <p>(内容) 百人一首のほかに源平合戦や坊主めくりなど様々な遊びをし、日本文化の継承の場を提供します。</p>	不定期 6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
囲碁・将棋教室	<p>(目的) 小学生～高校生を対象に囲碁・将棋（どちらでも体験できます）を通じて考える力を養います。</p> <p>(内容) 緑区内で活動している囲碁団体の方が講師となり、事前の申し込み制ではなく、無料で参加でき、参加者のレベルにあった指導、また対局ができるまで練習をします。</p>	不定期 6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子どものアトリエ 油絵教室	<p>(目的) 小学校の授業にはない油絵の講座を夏休みに開催します。</p> <p>(内容) 夏休みの人気の継続講座。参加者が画材の用意をしなくても、油絵が体験でき、夏休みの思い出、宿題にも役に立ちます。夏休み期間中、センター内に作品を掲示し、保護者にも喜んでいただいています。</p>	7月 3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子バドミントン 教室	<p>(目的) バドミントンを通じ、親子のふれあいの場となることを目的とします。</p> <p>(内容) 人気のある講座で、毎年2回開催しています。バドミントンの楽しさ、また打ち方の基礎的な技術を学びます。親子で楽しめる共通のスポーツとしてのきっかけ作りをします。</p>	9月、2月 各5回



## 自主事業別計画書

施設名 横浜市中山地区センター

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
夏休み子ども卓球教室	<p>(目的) 小学生を対象にラケットの持ち方、姿勢、素振りの仕方など基礎から指導します。</p> <p>(内容) 夏休みの人気の継続講座。基礎的な技術を丁寧に指導し、その後対戦もします。また、道具を大切に扱うことも伝えます。</p>	8月 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休み子ども体験講座	<p>(目的) 夏休みの小学校の課題にも役立つ講座を企画します。</p> <p>(内容) 内容が異なる3種類(書道、工作、手芸)の講座を開催します。</p>	8月 3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
小学生・親子クッキング講座	<p>(目的) 料理の楽しさを知っていただき、また親子のふれあいの時間を作ります。</p> <p>(内容) 6月は小学生と保護者でピザ作り、7月は小学生を対象に生地から作るパン作り、12月は小学生を対象にクリスマスのケーキ作りを開催します。いずれも人気の継続講座です。</p>	6月、7月、12月 3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シニア健康体操	<p>(目的) 概ね60歳以上を対象に、心身ともに健やかに、健康維持ができるよう運動をします。</p> <p>(内容) 人気のある講座で、継続して開催。音楽にあわせ、楽しく筋トレ・脳トレ・シルバービクスなどのいろいろな運動を経験していただけます。同年代のコミュニケーションの場を提供します。</p>	ほぼ通年 40回

## 自主事業別計画書

施設名 横浜市中山地区センター

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男性筋トレ講座	<p>(目的) 初心者から経験者の男性を対象に、様々な内容の筋力トレーニングを指導します。今まで行ったことがない講座を開催し、新たな利用者の獲得を期待します。</p> <p>(内容) 仲間と共に、健康に過ごせる体作りを行います。男性限定とします。</p>	3月、5月、10月 各5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ZUMBA健康体操	<p>(目的) 成人を対象にした、ダンスエクササイズです。</p> <p>(内容) 人気のある講座で、昨年度に続き開催します。ラテン系の音楽にあわせ、インストラクターを手本にダンスをします。体幹トレーニングの要素もあり、楽しく健康促進を図ります。</p>	ほぼ通年 40回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ノルディックウォーキング	<p>(目的) 今まで行ったことがない講座を開催し、新たな利用者の獲得を期待します。</p> <p>(内容) 2本のポールを使い、当センターに近い川をウォーキングします。新しいスポーツにチャレンジするきっかけ作りをします。</p>	4月、10月 各1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
手芸(裁縫、クラフトバンド)講座	<p>(目的) 成人を対象(初心者でもできる)に、1回の講座で仕上がるものを作ります。</p> <p>(内容) 季節の裁縫や編み物、クラフトバンドで小物作りをします。日常に新たな趣味の提案と、達成感を味わえる講座作りをします。</p>	不定期 6回

## 自主事業別計画書

施設名 横浜市中山地区センター

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
生け花・フラワーアレンジメント講座	<p>(目的) 花を使った講座を開催します。</p> <p>(内容) 贈り物になるフラワーアレンジメント、お正月の生け花を開催します。いずれも人気の継続講座。日常に花を添えて、心が豊かになる時間を作ります。</p>	5月、10月、12月 3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
書道講座	<p>(目的) 日常生活にも役立つ、書道の講座です。</p> <p>(内容) 初心者から経験者を対象に、オリジナルの手本で小筆や太筆でかな文字、漢字の書き方を指導します。</p>	3月 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ペン字硬筆基礎講座	<p>(目的) 今まで行ったことがない講座を開催し、新たな利用者の獲得を期待します。</p> <p>(内容) ペン字硬筆の基礎から学び、日常生活にも役立つよう短い文章を書く練習、封筒やハガキの宛名書きの指導をします。</p>	7月 3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
季節の洋菓子作り講座	<p>(目的) 成人を対象に、季節の行事にも利用できる洋菓子作りの講座を開催します。料理室の稼働率向上を期待します。</p> <p>(内容) 2月は、チョコレートを使った洋菓子、12月は、クリスマスのケーキを作ります。毎年人気の料理講座です。</p>	2月、12月 各1回

## 自主事業別計画書

施設名 横浜市中心地区センター

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地区センターまつり	<p>(目的) 年に1度、サークルが活動の発表をする場を設けます。また、来場者が楽しく、交流できる場を作ります。</p> <p>(内容) サークルの活動発表、作品展示、作品作り体験コーナー、作品販売コーナーを設けます。また、どなたでも楽しめるゲームコーナー、飲食コーナーも設けます。</p>	<p>12月</p> <p>1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サークル作品展	<p>(目的) サークルで作った作品を展示することで、作品作りの意欲向上、新規会員加入促進、部屋の稼働率増加を図ります。</p> <p>(内容) 通年、ガラスケースにサークルの作品の展示促進をします。</p>	<p>通年</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お正月飾り作り	<p>(目的) 今まで行ったことがない講座を企画し、新たな利用者の獲得を期待します。</p> <p>(内容) 地元の自治会の協力を得て、新年を迎えるために飾る「門松」を手作りします。</p>	<p>12月</p> <p>1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
初めての包丁研ぎ講座	<p>(目的) 今まで行ったことがない講座です。料理室の稼働率向上を図ります。</p> <p>(内容) 初心者を対象に、研ぎ石で包丁を研ぐ方法を講習し、自身の包丁を実際に研ぐところまで教えます。</p>	<p>5月</p> <p>1回</p>

## 自主事業別計画書

施設名 横浜市中山地区センター

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クリスマスコンサート（ケアプラザと共催）	（目的）クリスマスにちなんだ曲の演奏会を開催します。 （内容）毎年開催している人気の演奏会。ピアノやギターの生演奏、またケアプラザを利用している音楽サークルの演奏を身近に聞いていただきます。	12月 1回

令和4年度（中山地区センター）自己評価表

目標設定の視点	計画内容及び運営目標	計画内容及び運営目標に対する実績	今後の取組（改善計画）	自己評価
利用者サービス	<p>事業計画書</p> <p>(2)イ 地域特性、地域ニーズ</p> <p>に記載しているもので、対象年度に行う予定のもの</p> <p>中山地区センターの周辺は、JR 中山駅を基点に商業施設や新興住宅地、公立・私立小中高等学校などがあり、昔から住んでいる地元住民と、戸建てや集合住宅開発の後に住み始めた住民が混在し、バラエティに富んでいます。センターを利用圏とする地域は、新治中部地区連合、山下地区連合ですが、利便性の良さから近隣にある会社や工場などに勤務する人々から子育て中の若い世代、こどもから高齢者まで、幅広い世代の交流の場となっています。そこで、こどもから高齢者まで、幅広い世代が誰でも気軽に利用できる施設運営と自主事業の企画を行い、多様な交流と活動の場を提供していきます。また、子育て世代や保護者への支援として、近隣の小中学校と連携し、マナーや学力の向上に貢献していきます。</p> <p>【目標数値】あらゆる世代が気軽に参加利用できる「居場所」の提供をします。入館者数 令和元年度同水準 98,000 人</p> <p>※令和3年度 69,000 人 2年度 48,222 人 元年度 98,019 人 30年度 118,093 人 29年度 133,845 人</p>			
	<p>ウ 公の施設としての管理</p> <p>健康・福祉・子育て支援・青少年健全育成等、公益上特に必要と認められる地域で活動している団体には、センターの優先利用や減免など、活動にあたっての支援を行っていきます。また、自主事業終了後に結成され活動を始めた団体には、会員募集や優先利用などの支援を行い、継続的な活動をサポートしていきます。近隣自治会等の地域活動の拠点や集会に活用され、気軽に利用できる身近な施設としての役割を果たし</p>			

	<p>ていきます。条例、利用要綱、マニュアル等に基づき、利用者の立場に立って公平・公正を基本に管理運営します。優先利用や利用料の減免については、他の利用者への影響や公平性を損なわない範囲で弾力的な運用も含め、規定に従い適正に運用していきます。</p>			
	<p>(4)エ 利用者ニーズの把握と運営への反映</p> <p>センター委員会や利用者会議を開催するほか、利用者意見箱の常設、自主事業終了後にアンケートを行うなど、積極的に地域や利用者の声を把握し、運営に反映させていきます。今までの実績も踏まえ、新型コロナに十分配慮しつつ、人気のあった事業は繰り返し開催するとともに、ハーモニーみどり祭りの開催などニーズに応じていきます。日常から、利用者に気軽に声をかけ、コミュニケーションをとる中で、利用者ニーズの把握に努めます。</p> <p>【目標数値】 利用者からのご意見苦情は、利用者の関心が高いと受け止め、迅速な対応と解決への努力をします。施設備品購入・環境整備 R3年度4件 ⇒ R4年度5件</p>			
	<p>オ 利用者サービス向上の取組</p> <p>地域の方々が、「また利用したい」「身近なオアシス」と思ってもらえるようなサービスを提供していきます。新型コロナ感染防止を職員・スタッフが十分配慮し、消毒液を要所に配置するとともに、利用者の協力を得て利用後の部屋の消毒等に努めます。明るく清潔で、挨拶を励行し、コミュニケーションを図り、利用しやすい雰囲気を備えた、様々な活動や地域交流が生れる場づくりを目指します。利用者意見箱や直接いただいたご意見・苦情等は、よりよいサービスを提供するための資源と受け止め、速やかに運営に役立てるとともに、本人回答、館内掲示、各種会議で公表していきます。</p> <p>【定性目標】 笑顔と声掛けで利用者をお迎えし、心安らぐサービスの提供を職員スタッフ一同心がけます。</p>			
業務運営	<p>事業計画書</p> <p>(3)ア 管理運営に必要な組織、人員体制に記載しているもので、対象年度に行う予定のもの</p> <p>職員は、館長1名、指導員1名、指導員補助2名、コミュニティスタッフ12名、作</p>			

業スタッフ2名の18名を配置します。常に、館長、指導員又は指導員補助1名及びスタッフ2名を配置し、利用者数が多い時間帯にはスタッフ等を増員して、円滑に運営していきます。【定性目標】職員・スタッフの急病・急用への対応のため円滑に交代要員を確保します。

職 種		人数	雇用形態・勤務体制		
館 長		1名	常 勤	早番 8:45～16:45	1日2～3名が勤務、4名でローテーション (日祝日は1名で17時15分まで)
指導員		1名		遅番 13:15～21:15	
指 導 員 補 助		2名	非 常 勤	早番 8:45～15:45	
				遅番 14:15～21:15	
ス タ フ 	午 前	4名	非 常 勤	9:00～13:00	1日に2名ずつ勤務、半月ごとにローテーション
	午 後	4名		13:00～17:00	
	夜 間	4名		17:00～21:00	
	作 業	2名		8:00～11:00	1日1名勤務、半月ごとにローテーション

ウ 緊急時の体制と対応計画

安心・安全に利用できる地区センターを目指し、防犯、防災の対応については、館長を対応責任者とし、各対応マニュアルに基づき、迅速・的確に初動体制をとって対応していきます。又、緊急連絡網を作成し、区・関係機関等へ迅速に連絡し、連携して対応していきます。当協会の「防犯マニュアル」「防災マニュアル」を、機会を捉えてスタッフに確認します。日常点検時に、点検実施表を用いて1日7回以上館内外の確認を行い、防犯防災、事故防止に努めます。閉館時の防犯、防災については、警備会社と契約し万全を期します。万が一、施設で発生した損害賠償等に対応するため、施設賠償責任保険に加入し、対人2億円の補償を確保します。「子ども110番」、「警察官立寄所」など、地域の防犯に積極的に協力していきます。特に、防災については館長を「防火管理者」とし、防災計画を策定します。消防署と連携して、避難訓練1回、消防訓練（施設合同）を2回実施します。AEDの取扱い訓練も年1回実施します。区と



の「災害時における施設利用の協力に関する協定」に基づき、災害時の住民の避難場所としての運営を行っていきます。館内外で事故等が発生した場合は、速やかに救急救助・警察・区等関係機関へ連絡・報告し、各機関と連携して迅速・適切な緊急対応をしていきます。その際、被害者の応急措置や家族への連絡、付き添い等を適切にできるよう、研修等で職員に徹底していきます。

特に、小中学生のトラブルについては、学校との連携を密にし、子どもの健全育成に配慮した対応がとれるよう努めます。27年度から編成した帰宅困難者対応班で、災害時等に迅速に対応していきます。【定性目標】「緊急時マニュアル」を職員スタッフ一同が把握し、人命の保護を第一に行動できるよう研修を実施します。

(4)ア 設置理念を実現する運営内容

一般社団法人緑区区民利用施設協会は、区と連携して、区民利用施設の管理運営及び区民が参加する活動への協力等を通じて、区民を主体とした活動とふれあいのある生き生きとした地域社会の実現に貢献していくことを目的として活動しています。

<緑区区民利用施設協会執務方針>

区民サービスの向上と効率的な運営を基本に業務の質の向上に努めます。

- ・お客様の声をよく聞き、快適で満足度の高い施設環境を提供します。
- ・お客様が安全に安心して利用できるよう万全な危機管理を行います。
- ・個人情報保護・金銭執行管理・執務執行管理を適正に行います。
- ・職員間の情報共有を進め、コミュニケーションを密にします。

イ 利用促進策

H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
67.5%	63.0%	66.4%	52.9%	66.0%

引き続き利用者へのサービス向上・充実を図って目標値を上回るよう努めます。コロナ禍の中で高齢者に配慮し、窓口での予約受付を止め、電話受付に変更します。R元年度から月単位で予約を申し込む方法に切り替え、毎月11日の抽選結果公表後は、できるだけ空き室が出ないよう、利用コマ数を無制限にしています。また当日予

約による時間貸しを引き続き行い、利用の促進を図ります。  
自主事業は、ニーズを踏まえた、コロナ感染防止対策を踏まえて、誰もが気軽に参加できる事業を実施します。又、稼働率の低い時間帯（午後3時～6時、夜間6時～9時）に参加可能な対象者のニーズにあった事業を提供し、稼働率の底上げを図ります。稼働率の低い部屋（料理室、和室）は、料理の講座「季節の洋菓子作り講座」「小学生・親子クッキング教室」などや、和風文化を取り入れた自主事業「百人一首教室」などを実施します。特に、料理室の活用は、利用延長緩和や、幼児を伴う利用がしやすくとともに、状況に応じての利用コマ数を柔軟に運用するなど稼働率の向上に努めます。

広報よこはま区版、地区センターだより等の活用のほか、小学校との一層の連携やホームページの情報更新を頻繁に行い、地区センターや自主事業を広く周知しPRの強化に努め、利用者の皆様に知っていただけるようにします。コロナ禍のため全年度は大きく落ち込みましたが、感染防止策を徹底し安心してご利用いただくように努めます。稼働率の低い部屋（料理室）については、新企画の自主事業講座の取り組みなど、一層の稼働率アップを目指していきます。

① 広報の充実強化

「広報よこはまみどり区版」やホームページへの掲載や、地区連合自治会の協力を得て回覧いただいている「ハーモニーみどりまつりのお知らせ」、毎月発行する「地区センターだより」、ミニコミ誌やケーブルテレビの活用を図り、地区センターのPRと、小中学校に協力いただいでの広報活動を行います。

② 設備・備品の充実

タイムリーな備品類の更新、設備の修理を行い、安全で快適な環境づくりを進めるとともに、快適で清潔な居心地の良い空間づくりに努めます。

【目標数値】

稼働率 前年度下半期の実績を踏まえ 57%

キ 本市重要施策に対する取組

	<p>「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」にのっとり、情報公開規程を作成し、指定管理業務に関わる情報の公開に対応していきます。スタッフを対象とした研修を積極的に進め、人権への気づきの感覚を高めます。横浜市の「3R夢プラン」の取り組みを利用者とともに進めます。こまめな消灯により光熱水費の削減を図ります。(28年度に電気契約を東電からエネットへ変更) センター利用者には、ごみの持ち帰りを徹底するとともに、センターから出るごみは極力抑制し、分別は徹底して資源化に努めます。ペットボトルのふたについては、別途分けて収集し、NPO 法人を通してワクチンなどの購入費用に充てる活動に協力していきます。また、地区センター内に花などを置くなどの配慮をします。「横浜市中心小企業振興基本条例」に基づき、施設管理業務委託や物品購入については、市内の中小企業への発注に努めます。</p> <p>EV・多目的トイレを設置しており、ハード面では相応の水準にあります。職員・スタッフが障がいに対する理解を深め、暖かな目線による対応を心掛けます。ドメスティックバイオレンス防止等男女共同参画の意識啓発のパンフレットを配架します。</p>			
	<p>ク アイデア提案を募った項目(該当施設)</p> <p>地区センターの目標は、職員全員の目標として共有し、「達成するためにはどうしたらよいか、どのような貢献ができるか」をひとり一人が考え行動できるよう、職員意識と組織力を高め、課題解決力の向上に努め、サービスの向上に取り組みます。館内にはボランティアの協力を得て、植物や生け花を飾り、居心地の良い雰囲気づくりに努めています。</p>			
	<p>(5) 自主事業計画</p> <p>誰もが気軽に参加できる魅力ある自主事業を企画・実施し、より一層の参加者の増加を目指すとともに、「いきいきと心豊かな生活を送るきっかけづくりや仲間づくり」をコーディネートしていきます。年度当初企画事業に加え、シーズンおりのタイムリーな単発事業を実施するなど、より多くの自主事業の実施に努めます。</p> <p>(令和4年度予定 56事業 280回実施)</p> <p>&lt;自主事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人気の高い自主事業は内容を工夫しながら継続して開催するほか、稼働率の低い時間帯に参加可能な対象者のニーズに沿った事業を新企画するなど、リピーターの獲得と稼働率の底上げに努めます。→ 「手芸(裁縫)講座」「生け花・フラワーアレンジ</li> </ul>			

	<p>メント講座」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民を対象に、当地区センターを利用している団体の協力を得て、年代各層が参加交流できる場づくりをします。→「ハーモニーみどり祭」</li> <li>・楽しく交流しながら体力・健康づくりをする講座、生活の幅を広げ豊かにする教室、教養を高める講座を実施します。→「シニア健康体操」「ペン字講座」</li> <li>・国際化が進む中で、地域の子どもたちに日本の良き伝統文化を広め、理解を深めるきっかけづくりを目的とした講座を企画していきます。→「百人一首教室」「囲碁・将棋教室」</li> <li>・近隣の小中学生を対象に、普段経験できないことを体験できる講座、自由に参加できる講座や勉強会などを企画・実施していきます。→「子どものアトリエ油絵教室」等</li> <li>・スポーツを通じて地域の教育力を高める一助として、日々のふれあいを通じて公共施設の利用方法のマナーや他人への思いやりが育てられるよう支援していきます。→「親子バドミントン教室」「夏休み子ども卓球教室」</li> <li>・アンケート結果から、親子一緒に楽しめる講座やミニコンサート、料理教室などバラエティに富んだ事業を実施します。→「小学生・親子クッキング講座」「親子あそびの時間・音楽会」等</li> </ul> <p>②自主事業の運営方法について</p> <p>誰もが、そして大勢が参加しやすくするために、参加費を安くするとともに、参加者が予定数を超えた場合は、新型コロナ感染対策を踏まえたうえで、より多く参加できるよう講座の講師と調整を図ります。自主事業で育った団体には、会員募集や部屋の優先利用などの支援を一定期間続け、継続的な活動を側面からサポートしていきます。各教室、講座の講師には、資格を持つ区内で活躍している人を中心にあて、区内人材の有効活用と経費節減に努めます。自主事業参加者にアンケートを行うなど、検証を行い今後の企画に役立てます。</p>			
職員育	<p>社会経済情勢の変化に伴い利用者のニーズも多様化する中、職員の能力・資質の向上が必要です。このため、多くの機会を設け、各種の研修を企画し人材育成に努めます。</p>			

<p>成</p>	<p>施設運営に必要な能力・資質の向上を図るため、業務研修、接遇研修、防犯研修、消防救助訓練、人権・個人情報保護研修等、施設協会研修計画に則って実施していきます。特に、年2回の「ハーモニーみどり合同避難訓練」に参加し、実地対応能力の向上や施設間の連携強化を進めます。また、責任職には、リーダーシップや指導力の向上のための研修や、指導員及び指導員補助には、企画力の向上を目指す生涯学習関係の研修など、積極的に参加させていただきます。</p> <table border="1" data-bbox="293 411 987 1129"> <thead> <tr> <th data-bbox="293 411 468 459">種 類</th> <th data-bbox="468 411 987 459">研 修 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="293 459 468 580">採用時研修</td> <td data-bbox="468 459 987 580">新規採用職員全員に対し、「協会の使命」「地区センターの目的と役割」「勤務内容（接遇含）」「人権・個人情報保護」「消防訓練」等の実施</td> </tr> <tr> <td data-bbox="293 580 468 778">業務・危機管理研修</td> <td data-bbox="468 580 987 778">指導員・スタッフを対象に、接遇を始め日常業務の振り返りを行い改善につなげる「業務改善研修」や、個人情報漏えい防止のため「個人情報保護研修」、AEDや消火器操作の「消防救助訓練」、警察官を招いての「防犯研修」等の実施</td> </tr> <tr> <td data-bbox="293 778 468 900">職場緊急研修</td> <td data-bbox="468 778 987 900">万が一事故事件が発生した時、又、他での事例が発生した時に、職場全体で問題や解決策を共有し、今後の発生防止に努める</td> </tr> <tr> <td data-bbox="293 900 468 1129">【目標数値】</td> <td data-bbox="468 900 987 1129">防火管理者 現在3名 → 引き続き3名体制維持 【定性目標】施設運営に必要な能力・資質の向上を図るため、研修に参加する。「スタッフのできないことをなくそう。」を合言葉に館内外の簡易な補修はスタッフが行います。</td> </tr> </tbody> </table>	種 類	研 修 内 容	採用時研修	新規採用職員全員に対し、「協会の使命」「地区センターの目的と役割」「勤務内容（接遇含）」「人権・個人情報保護」「消防訓練」等の実施	業務・危機管理研修	指導員・スタッフを対象に、接遇を始め日常業務の振り返りを行い改善につなげる「業務改善研修」や、個人情報漏えい防止のため「個人情報保護研修」、AEDや消火器操作の「消防救助訓練」、警察官を招いての「防犯研修」等の実施	職場緊急研修	万が一事故事件が発生した時、又、他での事例が発生した時に、職場全体で問題や解決策を共有し、今後の発生防止に努める	【目標数値】	防火管理者 現在3名 → 引き続き3名体制維持 【定性目標】施設運営に必要な能力・資質の向上を図るため、研修に参加する。「スタッフのできないことをなくそう。」を合言葉に館内外の簡易な補修はスタッフが行います。			
種 類	研 修 内 容													
採用時研修	新規採用職員全員に対し、「協会の使命」「地区センターの目的と役割」「勤務内容（接遇含）」「人権・個人情報保護」「消防訓練」等の実施													
業務・危機管理研修	指導員・スタッフを対象に、接遇を始め日常業務の振り返りを行い改善につなげる「業務改善研修」や、個人情報漏えい防止のため「個人情報保護研修」、AEDや消火器操作の「消防救助訓練」、警察官を招いての「防犯研修」等の実施													
職場緊急研修	万が一事故事件が発生した時、又、他での事例が発生した時に、職場全体で問題や解決策を共有し、今後の発生防止に努める													
【目標数値】	防火管理者 現在3名 → 引き続き3名体制維持 【定性目標】施設運営に必要な能力・資質の向上を図るため、研修に参加する。「スタッフのできないことをなくそう。」を合言葉に館内外の簡易な補修はスタッフが行います。													
	<p>イ 個人情報保護等の体制と研修計画</p> <p>個人情報の取扱いについては、「個人情報の保護に関する法律」、「横浜市個人情報の保護に関する条例」、「個人情報取扱特記事項」、「地区センター等個人情報保護方針」を遵守し、適正に取り扱うよう研修等を通じ、職員に徹底していきます。館長を個人情報保護責任者とする個人情報保護体制を確立しています。取得した個人情報は、条例等に定めている場合以外は開示しません。個人情報漏えい防止には、施錠できる書庫</p>													

	への保管、シュレッダーによる処理、持ち出し禁止・コピー禁止、パソコンの施錠・パスワード設定、記録媒体の施錠管理など、職員ひとり一人に徹底していきます。			
財務	<p>事業計画書</p> <p>(6) 施設の維持管理計画（における効率化の工夫）</p> <p>に記載しているもので、対象年度に行う予定のもの</p> <p>施設の保全については、「利用者の方々が、気持ちよく、安心・安全に地区センターを利用していただけるよう」に、経費節減を念頭に置いて、できるところは自力で行い、資格や専門知識の必要な分野は、専門業者に委託し適正に行っていきます。建物内外の損傷状況、エレベーター、自動扉、防災機器、電気・空調設備、給排水衛生設備などの保守点検は、専門業者に委託し、安全で快適な環境を維持します。不調・不具合が発見された時は、早急に対応します。建物、設備、備品などの日常的な保守管理は、スタッフが効率よく漏れなく確認できるよう点検実施表を用い毎日7回点検を行います。又、室内は利用者の退出後に、その都度設備・備品に異常がないか確認します。建物・設備の不具合については、過去の実績も考慮して修理費を確保し、緊急性、優先度の高い順にタイムリーに補修していきます。毎日の日常清掃は、床・トイレ清掃、拭き掃除など作業スタッフが行います。定期的な清掃は、専門業者に委託して実施します。毎月実施：カーペット清掃、トイレ清掃、隔月実施：床・ワックスかけ、年6回実施：ガラス清掃、年4回実施：換気扇・空調フィルターなど、年2回実施：バルコニー清掃、屋上清掃など</p> <p>複合施設内4施設との連携により環境保全と緑化に努め、敷地内の植栽は、適切な時期（年2回）に委託による剪定・消毒を行い、清潔で明るい環境づくりに努めます。【目標数値】R3年度エレベーター閉じ込め事故0件 ⇒H28年度～R2年度 エレベーター閉じ込め事故0件</p> <p>⇒H27年度エレベーター閉じ込め事故2件</p>			
	<p>(7)ア 収入計画の考え方</p> <p>自主財源の確保に一層努力し、企業からの協賛等を導入し、経費の節減と収入増を図り、利用者サービスの向上に努めます。地区センター利用のPRや魅力ある自主事業の企画・実施など部屋の稼働率を高め、利用料金の収入増を図るとともに、小さな収入も大事にしていきます。</p>			

【目標数値】利用料金収入 R2目標額の85% 4,000千円

稼働率の低い部屋や時間帯の活用を図ります。

※R3年度目標 3,750千円

〃 実績 4,516千円(目標対比20%増)

令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開館時間1時間短縮(約5か月間)や空き部屋の新規予約受付停止(約3か月)、コロナが理由で部屋をキャンセルする場合は、キャンセル代の徴収をしないなど利用制限が続きました。

#### イ 増収策

平成31年4月よりインターネット予約システムを導入し、いつでもリアルタイムに部屋の空き状況が把握でき、24時間予約可能となりました。また、導入時より、①月単位の利用受付に変更し、②抽選申し込みは月5枠まで、その後の一般予約は枠制限なしとし、利用者増を図っています。当日利用で、会議室に1コマ(2H又は3H)に満たない空きがある場合、当日利用希望者に時間貸しを行い、増収を図っていますが、このやり方を利用者に一層PRし、サービスの向上と増収に努めます。自主事業を部屋の利用が少ない時間帯(PM3時~)に実施し、稼働率向上と利用料の増収を図ります。料理室の稼働率を高めるため、幅広い年代層が参加できる講座、季節の行事などにちなんだ料理教室等を増やします。

#### ウ 支出計画

項目	内容等	金額	
人件費	職員・スタッフ	館長1名、指導員1名(常勤) 指導員補助2名、スタッフ14名(非常勤)	20,448
	社会保険料等	社会保険料、健康診断費、福祉共済掛金	1,320
	小計		22,222
事務費	事務費	消耗品費、図書購入費、備品購入費、リース料等	1,290
自主事業費		講師謝金、材料費、保険等	1,410
管理費A(a)	光熱水費	電気、ガス、水道料金	7,219
管理費B(b)	修繕費	設備、備品等の小破修繕	715
	清掃費	日常清掃、定期清掃、害虫駆除等	1,610

	施設管理保守	消防設備、空調設備、エレベーター包括点検等	3,043		
	小計		5,549		
	公租公課	消費税等	2,647		
	事務経費	労務、経理、職員研修等	2,100		
	ニーズ対応費		1,561		
	施設管理運営経費		43,998		
	(4)カ ニーズ対応費の使途（地区センターのみ） 要望が多く、費用対効果が高いニーズに対応していきます。具体的には、インターネット予約システムの運営費、毎年ニーズの高い「ハーモニーみどりまつり」や、高齢者や子育て中の保護者に向けた支援となるような、室内改修、備品・消耗品類の購入などに充てていきます。また、その対応が適切かどうか、利用者の皆様から率直な意見をいただけるよう、利用者会議などで使途を説明していきます。				
その他 （上記 4つの 視点以 外の項 目があ れば追 記）					
利用者 等の意 見	「利用者意見箱」からの意見や、自主事業終了後のアンケートの分析、「利用者会議」の開催、スタッフからの報告（随時）など利用者ニーズの把握に努め、運営に反映していきます。「ご意見を待つ」姿勢から、利用者の負担にならないよう配慮しながら、積極的にご意見をうかがう姿勢で取り組みます。いただいたご意見や苦情に対し、迅速に対応します。館長以下スタッフまで、利用者に対し気軽に声をかけ、コミュニケーションをとる中で、利用者ニーズを把握していきます。			公平な利用に関する利用者の意見を踏まえて、ビジター利用や同一団体の複数登録を自粛し、登録団体の実態に即した利用をお願いしていきます。	

《自己評価》

A：計画、目標を上回って実施

B：計画、目標を保持して実施

C：計画、目標を下回って実施



※「利用者等の意見」は、計画内容及び運営目標欄に利用者等から寄せられた意見・要望を、計画内容及び運営目標に対する実績・今後の取組（改善計画）欄に意見等に対する対応を記載から寄せられた意見・要望を、計画内容及び運営目標に対する実績・今後の取組（改善計画）欄に意見等に対する対応を記載

令和4年度 「中山地区センター」 収支予算書兼決算書  
(2022. 4. 1~2023. 3. 31)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	38,050,000		38,050,000		38,050,000	横浜市より
利用料金収入	4,227,000		4,227,000		4,227,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	1,323,000		1,323,000		1,323,000	
自主事業収入	0		0		0	
雑入	398,000	0	398,000	0	398,000	
印刷代	5,000		5,000		5,000	
自動販売機手数料	270,000		270,000		270,000	
駐車場利用料収入	0		0		0	
その他（カラオケ情報料）	70,000		70,000		70,000	
その他（自販機分担金）	50,000		50,000		50,000	
その他（古紙・利子他）	3,000		3,000		3,000	
<b>収入合計</b>	<b>43,998,000</b>	<b>0</b>	<b>43,998,000</b>	<b>0</b>	<b>43,998,000</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>22,222,000</b>	<b>0</b>	<b>22,222,000</b>	<b>0</b>	<b>22,222,000</b>	
給与・賃金	20,448,000		20,448,000		20,448,000	館長・指導員及び時給職員16名
社会保険料	1,320,000		1,320,000		1,320,000	
通勤手当	414,000		414,000		414,000	常勤職員
健康診断費	16,000		16,000		16,000	常勤職員
勤労者福祉共済掛金	24,000		24,000		24,000	
退職給付引当金繰入額	0		0		0	
<b>事務費</b>	<b>1,290,000</b>	<b>0</b>	<b>1,290,000</b>	<b>0</b>	<b>1,290,000</b>	
旅費	11,000		11,000		11,000	出張旅費
消耗品費	328,000		328,000		328,000	事務消耗品費
会議随い費	16,000		16,000		16,000	
印刷製本費	200,000		200,000		200,000	
通信費	343,000		343,000		343,000	電話代・郵送料等
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0		0	
その他	0		0		0	
備品購入費	200,000		200,000		200,000	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	40,000		40,000		40,000	
職員等研修費	25,000		25,000		25,000	
振込手数料	22,000		22,000		22,000	
リース料	77,000		77,000		77,000	
手数料	28,000		28,000		28,000	
地域協力費	0		0		0	
<b>事業費</b>	<b>1,410,000</b>	<b>0</b>	<b>1,410,000</b>	<b>0</b>	<b>1,410,000</b>	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	1,410,000		1,410,000		1,410,000	
自主事業費	0		0		0	
<b>管理費</b>	<b>12,768,000</b>	<b>0</b>	<b>12,768,000</b>	<b>0</b>	<b>12,768,000</b>	
光熱水費	7,219,000	0	7,219,000	0	7,219,000	
電気料金	4,095,000		4,095,000		4,095,000	
ガス料金	2,060,000		2,060,000		2,060,000	
水道料金	1,064,000		1,064,000		1,064,000	
清掃費	1,610,000		1,610,000		1,610,000	定期清掃費
修繕費	715,000		715,000		715,000	
機械整備費	181,000		181,000		181,000	
設備保全費	3,043,000	0	3,043,000	0	3,043,000	
空調衛生設備保守	893,000		893,000		893,000	
消防設備保守	165,000		165,000		165,000	
電気設備保守	123,000		123,000		123,000	自家用電気工作物
設備総合巡視点検	330,000		330,000		330,000	
空調自動制御装置保守	377,000		377,000		377,000	
エレベーター	120,000		120,000		120,000	
自動ドア	98,000		98,000		98,000	
植栽管理	330,000		330,000		330,000	
害虫駆除清掃保守	50,000		50,000		50,000	
駐車場設備保全費	20,000		20,000		20,000	新磁気標準駐車券購入費
その他保全費・1	289,000		289,000		289,000	空気測定・残留塩素・環境衛生選任・温水ヒーター点検
その他保全費・2	248,000		248,000		248,000	ウォータークーラー水質検査、保守点検
共益費	0		0		0	
<b>公租公課</b>	<b>2,647,000</b>	<b>0</b>	<b>2,647,000</b>	<b>0</b>	<b>2,647,000</b>	
事業所税	0		0		0	
消費税	2,423,000		2,423,000		2,423,000	
印紙税	20,000		20,000		20,000	
その他（県・市民税他）	204,000		204,000		204,000	
<b>事務経費（計算根拠を説明欄に記載）</b>	<b>2,100,000</b>	<b>0</b>	<b>2,100,000</b>	<b>0</b>	<b>2,100,000</b>	
本部分	2,100,000		2,100,000		2,100,000	労務・経理等の本部事務経費
当該施設分	0		0		0	
<b>二一ス対応費</b>	<b>1,561,000</b>	<b>0</b>	<b>1,561,000</b>	<b>0</b>	<b>1,561,000</b>	
<b>支出合計</b>	<b>43,998,000</b>	<b>0</b>	<b>43,998,000</b>	<b>0</b>	<b>43,998,000</b>	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入				0		
自主事業費支出				0		
自主事業収支				0		
管理許可・目的外使用許可収入				0		
管理許可・目的外使用許可支出				0		
管理許可・目的外使用許可収支				0		